令和３年度　事　業　報　告　書

１育　　英　　学　　院　　概　　要

２　育　英　学　院　事　業　報　告　書

３　育　英　学　院　財　政　の　概　要

学校法人　育　英　学　院

1. 育英学院概要

⑴基本情報

①法人の名称　　学校法人　育英学院

②主たる事務所　住所　194-0215　東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号

電話　０４２－７７５－３０２０　FAX　０４２－７７５－３０２３

ホームページ　http://www.salesio-sp.ac.jp/main/about_us/ikueigakuin.html

⑵建学の精神

この法人は、教育基本法及び学校教育法に従いつつ、カトリックの教育精神及び設立母体であるカトリック・サレジオ修道会の創立者ヨハネ・ボスコの教育理念に基づく学校教育を行い、社会に有為な人材を育成することを目的とする。

【学校法人育英学院寄附行為　第３条】

⑶学校法人の沿革

昭和 ８年	学校設立準備、学校設立代表者ヴィンセンシオ・チマッチ
９年	東京育英工芸学校を創設、乙種工業学校として印刷科を設置
１０年　４月　１日	学校開設
１３年　４月	木材工芸科を新設
１５年　２月２２日	財団法人組織とし、帝都育英学院と称する
１７年　３月	甲種工業学校に昇格、帝都育英工業学校と改称
２２年　４月	学制改革により帝都育英中学校を併設
２３年　３月	学制改革により帝都育英工業高等学校と改称
２４年　４月	電気科を新設
２６年　２月２６日	学校法人組織となり「学校法人　帝都育英学院」と改称
３４年　９月１０日	カトリック・サレジオ修道会より目黒サレジオ幼稚園（昭和２４年３月３０日開設）を移管される
３４年　９月１０日	目黒サレジオ中学校を設置する
３５年　３月１２日	帝都育英中学校、帝都育英工業高等学校の校名を「育英中学校」ならびに「育英工業高等学校」と改称
３７年１２月１５日	育英高等専門学校を設立する（既設学科：印刷工学科、電気工学科、工業意匠学科）
３８年　４月２６日	サレジオ高等学校を設置する（全日制：普通科）
３８年１０月　３日	学校法人名「学校法人　育英学院」と改称
３８年１０月　３日	学校法人東京サレジオ学園を吸収合併する （サレジオ小学校：昭和２２年４月１日設立、サレジオ中学校：昭和２３年３月１４日設立）
４０年　３月　１日	育英工業高等学校を廃校する
４２年　３月１３日	足立サレジオ幼稚園を設置する　育英高等専門学校を「育英工業高等専門学校」と改称、 工業意匠学科を「工業デザイン学科」に変更改称する
４３年　３月３０日	川崎サレジオ幼稚園を設置する
５０年　１月３０日	川崎サレジオ中学校を設置する　印刷工学科を「グラフィック工学科」と改称する
５１年　２月２３日	目黒サレジオ中学校を廃校する
５８年　４月　１日	サレジオ高等学校、川崎サレジオ中学校、川崎サレジオ幼稚園を「育英学院」より法人分離 （新設法人名「学校法人サレジオ学院」と称する）
６２年１２月２３日	電気工学科収容定員４５０人から６７５人に変更認可
６２年１２月２３日	グラフィック工学科４５０人から２２５人に変更認可
６３年　４月　１日	情報教育センター設置、男女共学の実施
平成 元年　４月　１日	電子工学科、情報工学科を開設する　定員各４５人
２年　３月２２日	育英中学校を廃校する
平成 ５年　３月３１日	女子第１期生卒業
６年　４月　１日	１年生混成学級編成　研究生第１期生入学　グラフィック工学科
７年　４月　１日	１・２年混成学級編成　研究生第２期生入学　工業デザイン学科
９年　２月１２日	グラフィック工学科をビジュアル情報工学科に、工業デザイン学科をデザイン工学科に学科名改称する
１０年　４月　１日	サレジアン文化技術交流センター（ＳＩＴＥＣ）での教育活動を開始する
１３年　２月１５日	専攻科生産システム工学専攻設置認可
１４年　３月１１日	育英工業高等専門学校のキャンパスを多摩ニュータウン町田グランネットタウン 小山地区（京王線：多摩境駅）に移転する計画を決定し準備に入る。

１７年　３月３１日	東京都町田市小山ヶ丘４－６－８に育英工業高等専門学校キャンパス移転完了
	ビジュアル情報工学科第３８期生卒業　同学科閉科
１７年　４月　１日	「育英工業高等専門学校」の校名を「サレジオ工業高等専門学校」に改称する。
１７年　４月　１日	サレジオ工業高等専門学校町田キャンパス開所
１７年　５月１３日	サレジオ工業高等専門学校新校舎落成式
１９年　５月２９日	ビジュアル情報工学科廃止届。
１９年　５月２９日	電子工学科の名称を機械電子工学科に改める。
２１年　４月　１日	デザイン工学科の名称をデザイン学科に改める。
２７年　４月　１日	町田サレジオ幼稚園を設置する（平成２７年３月３１日認可）

⑷設置する学校・学科　　令和３年５月１日現在

学校及び学科名	設置年月日	校長・園長名	住　所	電話･FAX
サレジオ工業高等専門学校	昭 37.12.15	小島　知博	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番８号	TEL 042-775-3020 FAX 042-775-3021
デザイン学科	昭 37.12.15			
電気工学科	昭 37.12.15			
機械電子工学科	平元.12.22			
情報工学科	平元.12.22			
専攻科 生産システム専攻	平 13. 2.15			
サレジオ中学校	昭 23. 3.24	北川　純二	東京都小平市上水南町四丁目７番１号	TEL 042-321-0312 FAX 042-321-0776
サレジオ小学校	昭 22. 3.29			
目黒サレジオ幼稚園	昭 24. 8.30	三島　心	東京都目黒区碑文谷一丁目２６番２４号	TEL 03-3714-2531
足立サレジオ幼稚園	昭 42. 3.13	野口　重光	東京都足立区江北三丁目４０番２７号	TEL 03-3899-4497
町田サレジオ幼稚園	平 27.4.1	松永　伸子	東京都町田市小山ヶ丘四丁目６番２号	TEL 042-775-3120

⑸学校・学科等の学生・生徒・児童・園児の現況　　令和３年５月１日現在

学校・幼稚園名		入学定員	入学者数	収容定員	現員数
サレジオ工業高等専門学校	専攻科	14	21	28	35
	デザイン学科	45	38	225	189
	電気工学科	45	23	225	160
	機械電子工学科	45	43	225	237
	情報工学科	45	40	225	215
サレジオ中学校		30	20	90	66
サレジオ小学校		30	16	180	107
目黒サレジオ幼稚園		110	83	450	277
足立サレジオ幼稚園		35	28	105	80
町田サレジオ幼稚園		60	34	180	101

⑹収容定員充足率　　（毎年度５月１日現在）

学校名	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和２年度	令和３年度
サレジオ工業高等専門学校	97.2%	100%	93.1%	94.3%	89.6%

※本科のみ

⑺役員の概要

定員数

理事：６人以上８人以内　監事：２人【学校法人育英学院寄附行為　第５条】令和３年５月１日現在

役員区分	氏　名	就任年月日	常勤 非常勤	主な現職等
功労者	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	非常勤	育英学院理事長
学院長 高専校長	小島　知博	平成１７年５月３１日	常勤	育英学院学院長 サレジオ工業高等専門学校長
中学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	常勤	サレジオ中学校長 サレジオ小学校長
評議員互選	三島　　心	平成３０年４月１日	常勤	目黒サレジオ幼稚園長
評議員互選	木戸　能史	平成２０年２月２１日	常勤	常務理事
評議員互選	小島　　勉	平成１４年４月１日	常勤	常務理事
功労者	木村　彰男	平成３１年４月１５日	非常勤	外部理事
功労者	米本　光男	平成２３年５月２６日	非常勤	外部理事
監事	長谷川　純也	平成１９年４月１５日	非常勤	
監事	菅野　正一	令和２年６月１日	非常勤	

⑻評議員の概要

定員数：１８人以上２０人以内　　【学校法人育英学院寄附行為　第１９条】　令和３年５月１日現在

評議員区分	氏　名	就任年月日	主な現職等
高専校長	小島　知博	平成２０年２月１日	サレジオ工業高等専門学校長
小学校長	北川　純二	平成２６年４月１日	サレジオ中学校長、サレジオ小学校長
幼稚園長	三島　　心	平成３０年４月１日	目黒サレジオ幼稚園長
幼稚園長	野口　重光	平成３１年４月１日	足立サレジオ幼稚園長
幼稚園長	松永　伸子	平成３１年４月１日	町田サレジオ幼稚園長
教職員	横山　松生	平成２１年２月２３日	育英学院法人本部　参与
教職員	北川　大介	令和２年４月１日	サレジオ工業高等専門学校チャプレン
教職員	山野邉基雄	令和２年１月１日	サレジオ工業高等専門学校副校長
教職員	髙橋　　孝	平成２５年４月１５日	サレジオ工業高等専門学校事務長
同窓生	桂嶋　博明	平成２２年５月２０日	育英学院同窓会相談役
同窓生	河村　英和	平成３０年４月１日	育英学院同窓会長
理事互選	並木　豊勝	平成２６年１２月２日	育英学院理事長
理事互選	米本　光男	平成２３年５月２６日	育英学院外部理事　（会社顧問）
保護者	田村　寛	令和３年４月１日	東京サレジオ学園　施設長
保護者	尾本　芳樹	令和２年１２月３日	サレジオ工業高等専門学校　保護者会会長
学識経験	濱口　秀昭	平成３１年４月１５日	サレジオ会日本管区長
学識経験	木戸　能史	平成１４年４月１日	育英学院常務理事
学識経験	小島　　勉	平成１４年４月１日	育英学院常務理事

⑼教職員の概要　令和３年５月１日現在

職名 / 学校名	校長 園長	教授	准教授	講師 教諭	助教 助手	非常勤 講師	事務 職員	非常勤 職員	合計
法人本部	人	人	人	人	人	人	人 3	人	人 3
サレジオ工業 高等専門学校	1	17	19	11	4	44	23	15	134
サレジオ中学校	1			9		2		1	13
サレジオ小学校	(1)			10		3	1	2	16
目黒サレジオ幼稚園	1			18		5	4	11	39
足立サレジオ幼稚園	1			7		2	1	5	16
町田サレジオ幼稚園	1			7		8	2	10	28
計	5	17	19	62	4	64	34	44	249

⑽その他
『学校法人育英学院寄附行為』は
http://www.salesio-sp.ac.jp/main/pdf/about_us/ikueigakuin/donation-20200401.pdfを参照。

２ 育英学院事業報告書

１ 理事長・理事会

事業計画

１　常務理事中心のワーキンググループの運営

一昨年度始まったワーキンググループを、本年度も継続して行っていく。このワーキンググループでは今年度は特に以下の点について重点的に取り組む。

⑴　育英学院設置の学校・幼稚園において定員充足に向けての施策の検討

➡　サレジオ小学校・中学校、町田サレジオ幼稚園についての会議を実施

⑵　目黒サレジオ幼稚園の園舎建て替えについて検討

➡　ワーキンググループを中心に事務作業を中心に実施中

ワーキンググループで取り扱ったことは理事会の際に報告をし、理事会でより必要な検討を行う。

➡　理事会や常任理事会で進捗状況の報告を実施

２ 法人本部

事業計画

一般の方針

１　内部監査のチーム編成と強化、監事との連携を図る（継続）

内部監査と監事監査を同時期に行い、各事業所の準備負担の軽減を考慮する。また、監事のヒアリング時にスムーズな進行を行うために法人本部職員が同席をする。これにより、一層強固なチェック体制を設ける。また文部科学省調査時の指導より、実施前に監査計画を作成することを継続する。内部監査については監事監査のヒアリングと並行して書類監査を行う。また会計の監査のみならず、経営面や運営面の観点からの監査を模索する。

➡各校長・園長とヒアリングを実施、法人本部職員が同席し、問題意識の共有を諮った

２　規則・規程の見直しと改正を引き続き行う（継続）

規則・規程は運営上、必要なものであるが、時代の流れに併せて、改正することが必須である。私学法改正に伴う寄附行為の改定は適宜行ってきているが、現行の規則・規程について、今年度も引き続き、昨年度未達であった規則・規程を全面的に見直し、必要に応じて改正を実施するように努力する。また必要に応じ、吟味した上で、新たに規程を制定することも検討する。

➡３６協定の再締結を今年度も全事業所で実施。法令改正に絡む規則の改正を継続して実施予定

３　法人本部業務の強化のために

法人内の事務経理のみならず様々な事務分野での技術力を高めるため、また最近の社会状況に乗り遅れることのないように法人部職員を研修会に積極的に参加するように促す。また研修会で得た情報を必要に応じて各学校の事務職員へと伝達する（継続）。

また専任職員３名体制で行ってきた法人本部事務であったが、中長期的に安定した人事配置を行うために、幅広い年齢層の職員を確保していく必要が有る。直近として、２０２２年度以降に専任職員の補充が必要となる。
法人本部強化のために経費の不足が見込まれる。そのため、以下の通り検討している。
➡採用活動について現在継続して実施中。

本部負担金

	高専(830人)	小中(180人)	幼稚園(460人)	前年度比（同数の場合）
令和２年度	20,000円	20,000円	18,000円	-
令和３年度	25,000円	20,000円	20,000円	+5,070,000円
令和４年度	25,000円	25,000円	20,000円	+900,000円
令和５年度	25,000円	25,000円	25,000円	+2,300,000円
令和６年度	25,000円	25,000円	25,000円	0円

➡予定通り値上げを実施。

４　人件費
⑴ 役員報酬及び理事長報酬は前年度と同じ処遇とする。
⑵ 事務担当職員の賞与は、サレジオ工業高等専門学校の月数を参考とすることにする。
➡　役員報酬について、予定通り実施。事務担当者については前年度と同月数とした。

５　その他具体的事業計画
・各事業所との連携
各事業所の校長・園長ならびに事務担当者等と緊密な連携をとり、互いに必要な情報の共有を行っていく。
➡法人本部と目黒サレジオ幼稚園専任教職員ならびに足立サレジオ幼稚園専任教職員と１対１のヒアリングを実施。また、サレジオ中学校教頭と意見交換を行った。今後も、継続して意見交換や情報共有の為に実施していく。

3　サレジオ工業高等専門学校

令和３年度　教育研究計画の概要

校長目標は「選ばれるサレジオ高専」を強く意識し、本校の価値や魅力を向上させることを目的としています。

令和３年度重点施策

令和 3 年度は第五期中期計画の目標達成を目指して以下について重点施策として担当部署が取り組みました。

（1）教育・研究力の強化（魅力的な学生を育てる）

＜1＞　教職員によるアシステンツァの実践強化

学生や保護者との関わり方を学ぶ機会を設けました。特に発生したトラブルを解決するために教職員間での共通認識事項を明確にし、各学科長を中心に学科内で情報共有し、必要に応じて職員に協力を願う体制を作りました。

<2>　退学者の減少

増加した退学者の数を減少させます。2020 年度は 26 名でした。30 名を切ることができましたが、国立高専は 20 名程度ということですので、さらに努力を続ける必要があります。

<3>　教育の質保証と向上

JABEE 受審を行いました。いくつかの課題が残りましたが、結果は「認定を可とする」ということで、合格となりました。引き続き本校の教育の質保証のために、残された課題に取り組みたいと思います。

（2）社会貢献力の強化（信頼を集める学校）

＜1＞　地域社会との連携

募集活動の一環としてこれまでのように小中学校から特別授業の依頼を受けると教員を派遣しました。町田市小山地区の町内会、商栄会、商工会議所との交流活動や八王子市の「いちょう塾」の講座を継続し、また相模原市・座間市の主催する市民大学の講座へも協力することや学校施設の市民開放を進め、地域市民に対する文化拠点となるようにしました。

<2>　産学連携の推進

大学コンソーシアム八王子を通じて八王子市以外の市に対する地域交流をさらに積極的に推進し、地域に立地する企業や自治体との交流・連携を密にし、社会実装教育を念頭においた連携を強化して、本高専の地域における貢献度をあげることを周知しました。各研究室単位では実施できたものの、学校全体の動きにはなりませんでした。

<3>　学校広報の推進

１階エントランスの大型スクリーンが新たな空間が本校のイメージアップのためだけでなく、幼稚園や保育園の園児たちの学びの場を実現し、地域や企業との交流の場となるようにしました。またウェブネットワークを通じて企業や地域社会だけでなく卒業生とも広くコミュニケーションを図り、交流することで本校のプレゼンスを高めました。

（３）経営力の強化（継続的に発展する学校になる）

<1>　教職員の業務遂行能力の向上

SD（Staff Development）システムを運用し、必要に応じて研修を実施しました。研修だけでなくさまざまな部署での業務の質向上、必要とされる能力の開発、向上に向けた動きまでには至りませんでした。また昨年度実施されなかった SMS（サレジオ・マネジメントシステム）の見直しと再構築も実施できませんでした。

<2>　受験者数の増加

令和２年度生募集では 171 名の入学者になりました。定員確保ができませんでした。コロナウィルス感染防止のために始めたウェブでの学校説明会など 2020 年度の取り組みを見直し、改善しましたが、180 名定員獲得には至りませんでした。2022 年度は定員確保をできるようさらなる工夫と努力をします。

<3>　財務計画

大規模修繕の計画を進める中、本校には修繕費を含む内部留保資産の積み上げが薄いことが大きな問題であることは強く認識しています。現在の２年生、４年生さらには１年生が定員に届いていないことがあり、内部留保資金の積み上げができませんでした。来年度は、弾力的な資金運用とムダの削減にこれまで以上に意識的に取り組み、入学者を増加させ、補助金の獲得に力を入れて、内部留保資金を確保したいと思います。

（４）特記事項：サレジオミッションの実践

<1>　司牧目標

サレジオ会の教育方針の基盤であるキリスト教的価値観を浸透させ、それに基づくドン・ボスコの精神の実践を強化するため以下のことを実施しました。

- 月２回のチャプレン訓話
- モーニングトーク
- 月例ミサ、チャペルの開放
- 掲示板を活用した啓発

４ サレジオ小学校・中学校

Ⅰ．令和３年度教育目標

「希望につき動かされて」（2021 年サレジオ家族年間指針）

コロナ禍にあって、依然としてさまざまなことが中止・延期・縮小となる可能性がある。できることを皆で探し出し、ポジティブに前を向いて、何ごとも希望をもって挑戦していく。

司牧部

昨年度ほとんどできなかった練成会などの信者や関係者の集まり、ミニ巡礼、クリスマス劇なども実施していきたい。道徳・倫理の授業、各行事を通して、どんなときにも神と人に信頼を寄せ、前向きで積極的な姿勢を持つように児童生徒を育んでいきたい。

１．　学年単位で（密を避けるため）聖堂（サレジオ学園）を利用する機会を作る。
　→一部の学年でしかできなかった。

２．　掲示板等を利用して、聖句やサレジオ会的薦めなどを掲示する。
　→あまりできなかった。

３．児童対象バイブルクラス、保護者対象バイブルクラスの再開。
　→頻度としては例年通りの状態に戻った。歌が歌えないことが寂しい部分。

Ⅱ．令和３年度重点課題

１．ICT 教育環境の整備促進

① Wi-Fi 環境をすべての教室・特別教室に整える。（2021 年４月工事予定）→実施済

② 授業等での PC・タブレット活用に向けて教員の学びを推進する。そのための研修会を設ける。→令和４年度に持ち越し。

③ ICT 教育環境を整えるため、その他設備整備のため、ホームページに募金用のバナーを置く。→実施できなかった。

２．募集活動

在籍数

小学校	１年生	２年生	３年生	４年生	５年生	６年生	合計
令和２年度末	１５	１９	１７	２２	１８	２０	１１１
令和３年度予定	**１６**	**１５**	**１９**	**１７**	**２２**	**１８**	**１０７**

中学校	１年生	２年生	３年生	合計
令和２年度末	２２	２４	２６	７２
令和３年度予定	**２０**	**２３**	**２４**	**６７**

令和３年３月 31 日現在の児童生徒数（予定数に変化があった学年）

小学校２年生 14 名、３年生 17 名、４年生 16 名

中学校１年生 22 名、２年生 22 名

※編入希望者は小中とも数件あるが、ほとんどが何らかの事情を抱えていて本校を希望している。編入試験を受けていただくが、受け入れに至らないケースもある。

小学校
学校説明会（５月、９月）→実施
小金井市子育て冊子広告（５月～６月）→実施
中央線沿線私立小学校合同相談会（２月）→実施
幼児教室向け学校説明会（新規）（3 月予定）**→実施はできなかった。**
中学校
東京都私立学校合同相談会（５月）→実施
学校説明会（６月、１０月、１２月）→実施
東京都私立中高連盟第１１支部合同相談会（６月、オンライン）→実施

小中共通
小金井市市報広告（8 月）→実施
教会・ミッション系幼稚園・保育園・小学校への働きかけを促進する。→一部実施
サレジオ会日本管区の諸活動の中で本校を紹介してもらう。→さらに働きかけが必要
→他に実施した広告など
三鷹市コミュニティバス時刻表
学校説明会前のジオロジック配信（位置情報を利用した WEB 広告）（5 回）

定員充足を目指して、本校の長所を生かしながら、新たなアピールポイントを模索していく。

３．感染症対策
① 児童生徒・教職員ともに、毎日の健康観察票の記入と月末の提出、マスクの着用、手洗い・手指消毒の励行、換気など、日々の対策を怠ることなく実施する。
② 体育科・音楽科・理科実験などにおいては感染症対策を取りながら注意深く実施する。家庭科（調理実習）は文科省や東京都の指示を参考にしながら実施できるときを待つ。
③ 各行事は、できる限り中止ではなく、できる範囲で、工夫しながら実施していく。
④ 来校者には、手指消毒・検温・本人と同居家族の体調記入をお願いする。
→児童生徒、教員が若干名ずつ感染したが、学校内での感染は考えられない。
ご家族の感染やご家族が職場や学校関係で濃厚接触者になったことにより、児童生徒、教員が登校、出勤できなくなったケースが多かった。

Ⅲ．主な工事予定
１．Wi-Fi 環境整備工事（4 月）（令和３年２月 15 日常任理事会にて承認）→実施
２．大樹の枝の剪定（長期的に）→段階的に実施
３．プール底修繕→実施

Ⅳ．その他
１．カウンセリング
昨年度同様、毎週水曜日にスクールカウンセラー、あるいはスクールソーシャルワーカーの相談日を設ける。担任との連携をさらに深めるための時間を確保する。→実施

２．ペーパーレス化

ＳＤＧs を意識しながら、可能な部分で電子化を進めていく。

→一部の教員の意識がまだ低いと思われるので、意識向上を目指していく。

３．中学校部活

バレー部、球技部、美術部、オルガン部、サッカー部（休部中）の４（５）部を置く。学校外のクラブと兼ねてもよい。→それぞれ与えられた環境でよく実施されている。

5　目黒サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2021）

「Moved by Hope」～希望につき動かされて～

Ⅰ．教育方針

【園のことば】　きよいこころ　げんきなこども

（1）教育目標

・キリスト教の価値観と創立者ドン・ボスコの教育理念に基づき、自然豊かな広い園庭を中心とした環境と暖かい家庭的雰囲気の中で、のびのびとした活動を通して子どもたちの心の教育に力を入れる。

・ドン・ボスコの教育理念である「愛情（信頼）」「理性（納得）」「宗教（祈り）」を根本にして、家庭との密接な連携を通して子どもたちの成長に寄り添う。

・幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心を身に着け、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指し、誠実な社会人になるように育成する。

＝学年のねらい＝

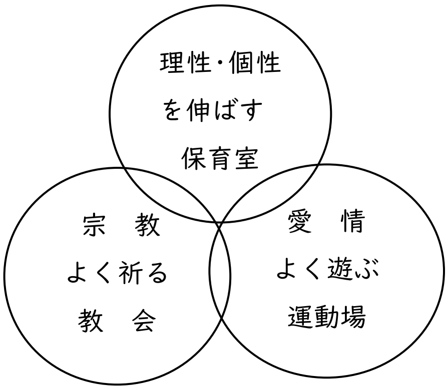
＜すみれ＞　（３歳児）　様々な環境に慣れ、園生活を楽しむ。

＜ゆ　り＞　（４歳児）　集団生活に必要な態度を身に付ける。
互いの気持ちを伝え合いながら友達と関わる。

＜ば　ら＞　（５歳児）　状況の判断力を養う。感謝と思いやりの心を育む。
好奇心を持ち、何事にも意欲的に取り組む。

(2) ドン・ボスコの教育の要約

子どもを教育するには、しっかり組み合わせた輪のような３つの場所が必要である。



----- 具体的にドン・ボスコの教育における宗教教育を実践するために以下のようなことに取り組んでいく。

① 日常の保育の中でのお祈り、シスターによる宗教の時間

② 行事の中で：聖母祭、クリスマス会、創立者ドン・ボスコのお祝いなど

③ 保護者の希望者に向けて園長による月２回の聖書と祈りの集い、Sr.大澤の要理を行う。

（3）教師（保育者）のあり方

１．園の教育理念を深め、共通理解のもとに保育に取り組む。

２．一人一人の園児に積極的に関わり、子どもの状況をよく把握する。

３．子どもたちがのびのびと活躍できるような環境の整備を心がける。

４．思いやりの心とけじめのある態度を、教師自らが手本となって示す。

５．職員・園児・父母の相互間の報告、連絡、相談を密にし、常に反省する姿勢を持つ。

６．月１回、サレジオ会司祭から要理教育についての研修を受け、カトリックの精神を身に付ける。（令和３年度は、副園長松尾神父による講話を予定）

⇒度重なるコロナ対応の協議などにより研修に割く時間が減少してしまった。可能な時にサレジオ教職員養成講座をオンラインで受講した。

（4）　家　庭

１．年頭、また参観などの機会に、教育理念を全保護者に伝える。

２．家庭教育・幼稚園教育の大切さを理解して頂くよう、機会ある毎にお願いする。

（家庭と幼稚園の教育観の一致、協力のお願い。－公共ルールや、躾など－）

３．親自身が子どものお手本になるよう心掛けていただく。

（5）　運営・経営における時代のニーズへの対応

子育て支援の強化

１．保育時間・預かり保育時間の延長等

平成２９（２０１７）年度以降、保育時間の３０分延長、預かり保育の最長１８時までの延長に加え、保護者のニーズに応え様々な保育時間延長の対応をしてきた。令和３（２０２１）年度は新たに夏期預かり保育の実施を予定している。子育て支援の取り組みを今後も継続しつつ、より保護者のニーズに応える対策を検討していく。

⇒夏期預かり保育は全日満席となったが、ニーズとしては働く保護者のための支援というよりは園の通常保育が数日延長する程度のものにとどまった。ただ新しい取り組みにあたり教職員が手探りながら協力して臨んだことも一定の成果として評価したい。今年度の反省を踏まえて次年度は改良した形で実施する予定にしている。

２．２０１９年度末に行った保護者アンケートの結果を分析し、特に子育て支援の観点から保護者負担を減らすべく行事の見直しを行ったが、コロナの影響もありその成果は十分に確認できなかった。令和３年度も継続的に行事の見直しを行い、保護者負担の軽減に努めていく。

⇒コロナ対応をしながら行事を検討し、実施する一年となった。その際には常に保護者アンケートの声を反映させることも重視しながら行ったので、少しずつ保護者負担の軽減につながる取り組みを実現できたと感じている。

募集対策

１．昨年に続き令和３年度新入園の園児数も１００名を下回り、厳しい結果となった。募集 PR 動画等で園の取り組みの「見える化」を進めてきたが、地域の保護者に選ばれる園になるために保護者のニーズに応える具体的で思い切った対策の必要性を痛感した。

２．令和３年度の新しい取り組みとして以下のことを実施する。

・アプリを使った保護者と園との相互連絡ツールの運用。

・希望者への注文弁当宅配サービス。

・夏期預かり保育の実施。

・幼稚園施設を活用した体操教室の実施。

・隣接する目黒星美学園小学校との協力。具体的には保護者向けの入学説明会の実施。

⇒新しい取り組みを実現できたことを評価したい。目に見えて募集につながっているという実感はまだないが、多くの保護者からもポジティブな反応をいただいたので、今後も継続しつつ必要に応じて柔軟に改善しながら進めていきたい。目黒星美小との連携はコロナ禍もあり保護者を集めることが難しかったため実現できなかった。

３．以上の取り組みを HP 上で PR し、園の魅力の可視化、発信に努める。

⇒HP、またブログも多いに活用し、目に見える PR、発信に努めた。

施設設備関係

１．施設の老朽化が加速し、安全面での不安がある為、営繕の職員が常に園内を巡回し、早急な対応をしている。教職員一同綿密に連携をとり、引き続き園児の安全に努めていく。

⇒安全面には最大限の注意を払い、早急に業者に依頼するなどの対応を実施した。

２．令和２年度は１階トイレの一部を改修し、テラスの雨漏り対策を施し、講堂の排水管の漏水箇所を修理した。また園務システム導入のため本部の指導も受けながら必要設備として wifi 環境を整え、iPad を導入して準備に取り組んだ。

⇒園務システム導入は保護者との連絡等において大きな進歩となった。wifi 環境のより一層の整備は保育内容にも反映させる可能性を作るために進めていきたい。

３．令和３年度は、夏の暑さ対策のため２階保育室の各部屋に空調機の増設を予定している。またアプリの導入に伴い wifi 環境を改善したので、これを機に保育で使う音響についてもインターネットを活用したものにシフトできるよう設備を整えていきたい。

⇒空調機の増設を実施し、暑さ対策についてはかなり改善した。音響設備については進めていくことができなかった。

職員の働き方、質の向上

１．この数年、年度末に教員の働き方について話し合い、決めた方針を実行し、折に触れて振り返りの機会を持ち、働き方の改善に努めてきた。その効果を感じ、教職員の意識にも変化が表れてきている。今年度も継続してこの取り組みをしていきたい。

⇒働き方改革の取り組みは継続して努力してきた。コロナ禍にあり対応に追われながらも効率よく仕事を進める雰囲気が保たれていた。

２．昨年度に引き続き、幼児教育現場の質の向上、教員の意識のさらなる向上を求め、研修の機会を活用する。加えて、教員に他の園の見学などを随時行うよう促し、検討を重ねていくことによって、時代のニーズに合わせた保育の在り方を模索していきたい。

⇒研修はほぼオンラインでの実施となり、その特徴を生かして内容の可能性を拡げることができた。発達障害の子どもとの関わり方についての研修、SDGs についての研修等、多くの刺激を受ける良い研修の機会を得た。他園の見学等の実施は難しかった。

Ⅱ．財務関係予算方針

［基本方針案］

園舎建て替え計画

園舎の建替え計画を具体的に進めていく。本部と連携して頻繁な会合を実施していく。
合わせて、今後の幼稚園運営の在り方についても引き続き検討を重ね、サレジオ修道会と連携し計画を作成していきたい。

地方公共団体補助金

東京都補助金、預かり保育補助金ともに、前年度と同額を計上する。
⇒東京都補助金については若干の減額であったが、預かり保育補助金についてはコロナ前の年度と同額を獲得できた。

経費について

１．人件費については、加配が必要な園児も増えている為、補助の教員を必要に応じ配置している、今年度も必要な経費を計上する。
⇒コロナ対応、加配児の対応により必要な人員も増えたが、教職員一同、連携を取って対応できた。

２．令和２年度は、コロナウイルス感染対策に消耗品等の支出が増えた為、令和３年度も引き続き必要と思われる経費を計上する。
⇒コロナウイルス対応の経費が増えたが、対象経費を分けて、目黒区と東京都のコロナ対策補助金を活用できた。

３．引き続き、修繕が必要な箇所が多くあると見込まれ、必要な経費を計上する。
⇒長期休みにしかできない工事、保育を継続しながらの細かい修繕も含め、園長、用務員、工事関係者の意見を聞きながら、連携を取って進めることができた。今後も、規模が大きくなる修繕に関しては、事前に本部にも相談をして進めていきたい。

6　足立サレジオ幼稚園

Ⅰ　教育目標

1．サレジオ会の事業として、ドン・ボスコの教育法の三本柱である「宗教・愛情・納得」の実践に励む。

① 宗教、道徳教育に力を入れる。

・本年のサレジオ会のストレンナ（年間目標）が「希望に突き動かされて」なので、この目標を幼児に理解できる言葉に置き換えて、保育において実践する。

⇒「だいじょうぶ！」の声掛けを多くした。

② 常に子どもに寄り添い、愛情に満ちた指導をする（アッシステンツァの精神）

・愛され、大事にされている実感が子どもに伝わるようにかかわる。

⇒肯定的な、子どもが安心できるような声掛けを多くした。

③ 子どもが納得できる指導、かかわりを行う（納得に基づく指導）。

・子どもの話・言い分をよく聞き、状況を把握して、子どもの納得が得られるように、わかり易く、優しく導く。

⇒まず受け止めて、話を聞くようにした。

④ 感動できる子どもに導く。（生物多様性、地球共生等）

・神さまが造られた宇宙や大自然の美しさ、素晴らしさを味わえるように導き、その大自然が人間の活動によって傷つけられている現実に気づくように、自然を大事にする気持ちを育てる。

⇒子どもたちの大好きは虫の話や、花や野菜の栽培を通して、自然を造られた神様に心が向くようにした。

⑤ 自分の気持ちや考えを他の人に上手に伝えられる子どもを育て、同様に他の人の気持ちを考えて行動できるように導く。

・場面に応じた適切な言葉遣いを教える。

⇒挨拶や何か頼むときの言葉、謝る言葉、ありがとうの言葉が言えるように導いた。

・集団生活に馴染むための力をつけられるように導く。

⇒順番を待てる、静かにする、「かしてー」「(仲間に) 入れて—」などはできるように導いた。

2．教職員の資質の一層の向上を目指し、保育内容の充実を図る。

① 全職員が建学の精神、教育目標を心に刻む。

・カトリックの価値観を知り、実践する。サレジオの精神を知り実践する。

・そのための資料を作り、伝える。

⇒職員研修の時に実施した。もう少し回数を増やすことが望まれる。

② 障がい児、あるいはその線上にいる子どもの指導方法、評価法を研究し実践する。

・障がいを持つ子がその障がいのゆえに子どもたちの中で疎外されたり、苦しむことのないように、子どもたちの理解が進むように工夫する。（パラリンピックの理解）

・サポート機関の評価を通して職員のアプローチの方法を工夫し、当該児が安心して園で生活できるように研究し実践する。

⇒保育後の打ち合わせの時に共有した。

・障がい児に関する外部研修に参加し、報告等を通じて園内での共通認識とする。

③ 内外の研修会に積極的に参加する。

・園長による職員向けの講話を実施する。学期初めの職員会議等で年三回は実施する。

・保育に関する研修は特に夏の長期休業等時に受講する。

・サレジオ会学校連合会主催の新任研修に参加する。

・サレジオ会家族教職員養成講座に参加する（オンライン・直接参加)。

⇒全体的にオンライン研修が多かったが、予定通りの研修はできたと思われる。

④ 教職員の保育後の仕事内容を見直し、効率化を図る。

・昨年度末よりバス運転手兼用務員を採用したので、上手に活用していきたい。

・保育実施の内容が午後の打ち合わせできめ細やかに報告相談されているので、それを上手に活用する工夫を続ける。

⇒職員が発言しやすい雰囲気創りが必要と感じられた。そのため、打ち合わせなどの進行役をその日の日直として、会議の話題の降り方などを互いに研鑽することにした。

3. 保育内容

① 日常保育

・新型コロナ感染症への感染対策として、ソーシャルディスタンスの確保、飛沫　感染防止の為にマスクの着用（屋外では一部解除）手指消毒、おもちゃ等の消毒、触れる機会の多い箇所の消毒に務める。

⇒丁寧に行った。

・各年齢の発達支援においては、子どもの特性を考慮して対応し、過度の要求は慎む。

⇒年少組は二人担任制と保育補助をつけて丁寧な保育に努めた。

・各年齢間の保育の一体性に気を付ける

⇒保育計画において気をつけて対応した。また打ち合わせ時に意見交換で調整した。

・火災・地震の災害に備えて日頃の避難訓練は具体的訓練内容を意識して行う

⇒火災の避難訓練の場合、場所によって避難経路を的確に判断できるように出火場所をあらかじめ知らせずに訓練した。

② 行事

・昨年度は新型コロナウィルス感染症の影響で、大部分の全体行事が分散実施せざるを得なかった。今年度も感染症の影響はまだ続く様子なので、国・自治体の指導に則って、工夫して保育活動を行っていきたい。

⇒方針通り実施した。

・職員相互の理解と連携のために、報告・連絡・相談（報連相）を各自が徹底して行う。

⇒打ち合わせ時にかかわらず随時行った。

・行事の意味、目的が当該の子どもの保育に適ったものであるかを、常に点検する。

⇒行事の計画段階から点検していった。そのため、次年度の計画に反映できるように、保護者にも知らせた。

・行事の数、内容が子どもと職員、保護者の過負担にならないように、実施時期、実施方法などを見直していく。

⇒次年度計画に反映させた。

・行事実施時の避難誘導係担当を決めて実施する。

⇒特にホールを使用する行事において、行事の開始前に知らせた。

・行事ごとの反省を行い、記録し、常に改善する。同じ行事であっても毎年新しい工夫を加える。教職員個人においては反省ノートをつける（ドン・ボスコの職員へのすすめ）

⇒行事終わりの打ち合わせにおいて、反省を行い、申し送りなどを記録用のノートに記した。

③ 縦割り保育（異年齢交流保育）を充実させる。

・縦割り保育は自他の区別や互いを思いやる情操に大変有用なので、年間を通して実施していきたい。

⇒コロナ感染症の広がりなどを見ながら実施した。

・新型コロナ感染症のために昨年度はほとんど実施できなかったが、園庭での交流は実施できそうなので、できる部分で行っていきたい。

⇒コロナ感染症の広がりを見ながら、園庭でも、クラスでも実施できた。三学期は感染症の広がりと行事の関係で実施がほとんどできなかった。

・火曜日などに実施していく。

⇒基本的には火曜日に実施した。

④ 預かり保育の実施。

・現在、幼稚園や保育園に対する社会の要請は、仕事を持つ保護者の子どもの保育をできるだけ長く行うことである。その是非はともかくとして、幼稚園の経営に当たってはその点を考慮したものにしなければ、健全な経営ができない。

⇒預かり保育（ペンギンクラブ）は専任の職員を配置して行った。

・預かり保育の時間を通常保育の日には、保育時間終了後 14:30 から最長 17：30 まで実施する。11：30 降園保育の時には保育終了後３時間まで（14：40）の預かりだったが、17：00 まで延長することにした。

⇒計画通り実施できた。

・長期休業中の預かり保育は、春休み、夏休み、冬休み共に 9：00 から 14：00 まで実施する。長時間の実施を行いたいが、教職員の休憩等の兼ね合いが合わずなかなか実施することが難しいが保護者のニーズに応えるために、時間を延長することも検討し、実現したい。

⇒職員数の関係で実現できなかった。

⑤ 園児募集に一層力を注ぐ。

・あらゆる保育活動の中で園児募集を意識する。

⇒意識して実施した。

・未就園児のクラス（ひよこ組・いちごクラブ）を行うことによって次年度の年少クラスの園児募集に大きな成果が出ていることを踏まえ、今年度も重点的に実施していきたい。

⇒ポスターなども掲示したりホームページに案内を出したり、電柱広告を出したりして PR に努めた。

・今年度の未就園児クラスは大変少ないので、ＨＰなどをより充実させて、楽しく安心して預けられる幼稚園であることをアピールする。また昨年度末には、来年度の未就園児がとても少ないので、ポスターなどの掲示に協力してくださいと保護者にお願いしたところ多くの方が協力してくれたので、同様のお願いを本年も行っていきたい。

⇒ホームページ上に動画などを配信して努力した。
・ひよこ組（三歳児クラス）の実施日数を週三日（母子分離型２日、親子参加型１日）行う。
⇒副園長が中心になってこまめな対応を行った。
・０歳から２歳児親子の参加対象の「いちごクラブ」を月二回程度実施する。
⇒小さい子への感染症の広がりで、参加人数は伸びなかった。

Ⅱ　設備ならびに財務関係予算方針

１．職員の確保

・昨年度は確保予定の職員が一名しか採用できなかった。早めに採用数を確認して動きたい。
⇒3 名の退職者が出たが補充が出来なかった。補助職員の中から幼稚園教諭の資格を持つ 2 名に、本務職員になってもらった。二人ともゆくゆくは本務職員になりたい意向があったので良かった。
・預かり保育の延長や未就園児クラスの充実、さらに職員が安心して休みをとれるためにはあと数名の職員が必要である。
⇒3 名の退職者が出たが、補充が出来なかった。

２．保育材料・機材の確保

・昨年度はコロナ感染症対策のために保育内容の動画配信などを実施してきたが、自前で実施できる技術獲得の必要を痛感した。そのために必要な技術、機材を少しずつ準備する。
⇒外の行事で使う拡声設備や動画を取るために必要な三脚などを購入した。
・園庭での保育のために園庭用の電波時計（屋外用壁掛け式）を購入する。
これから３社見積りをお願いする。予算は工事費込みで 15 万円を考えている。
ベランダ壁に設置予定なのでアーキビジョン２１にも相談する。
⇒外壁に電波時計を購入し設置した。
・ホール舞台のひな壇が不足しているので２台購入予定。予算は 15 万円。環境整備補助金を利用する予定。
・各クラスの CD ラジカセが耐用年数を超えて使用されているので、一新する。
予算は３台で４万円。こちらも環境整備補助金を利用する予定。
⇒3 台購入した。
・おもちゃなども古くなっているので、できるものから入れ替えていく。
⇒治せるものは補修して使った。
・図書なども古いものが多いので、最近の情報が入っている図鑑などを購入し保育に活用する。
⇒夏休みに倉庫などの整理を行い、不必要なものは処分した。

３．環境整備

・夏場になると蚊が発生して園児の健康衛生に影響が出るので、（保護者からも対応を願われている）対策を強化する。具体的には蚊取り線香を増設し、殺虫剤で駆除を強化し、区役所に相談する（近隣地に空き家・空き地あり）
⇒蚊取り線香の器具も新しくして蚊の対策に努めた。
・正門の門扉は足立教会と共用しているので、今まではきちんとした施錠がなされていない。少なくとも保育活動実施中は防犯のためにもきちんと施錠できるようにしたい。教会側と話し合って必要な対応を取りたい。

⇒教会側と協議を重ね冬休みに門費の改修を行い、懸案となっていた保育中の正門の施錠ができるようになった。

・駐車場の「車止め」が破損している箇所があるので必要な手当を行う。

⇒プラスチック製だったものをセメント製にして設置した。

・砂場奥のフェンスが無施錠なので、防犯のためにも施錠できるようにしたい。

⇒新たにフェンスを設置し、同時に鍵のかかる扉をつけて防犯上安全なものにした。

・災害時に園児たちの避難場所として、隣接する区民センターにお願い了承して頂いた。

⇒訓練をしていないので、次年度には避難訓練を行いたい。

・未就園児クラスの充実のためにあと一クラス分の部屋が必要なので、どうしたらよいかアーキビジョン 21 に打診する。

⇒本部の方にも相談中である。

・修繕等のために設備充実費分の保育料値上げを令和３年度入園児から実施する。

⇒実施済みである。

Ⅲ　その他

1. 教職員の休暇の取得に配慮し、リフレッシュした気持ちで保育に専念できるように努める（有給休暇の年間 5 日の取得義務等）

⇒長期の休み前に声掛けを行った。

2.教育経営の評価実施と報告書の作成

・保育参観の実施

⇒一日数名ずつ行った。

・監事監査の実施

⇒実施した。

・内部監査の実施

⇒実施した。

3.外部評価の実施（学校関係者評価の実施）

・学校関係者評価委員会を設置する

・結果を理事長に報告し、HP などで報告書を公表する。

⇒コロナ感染症のために実施できなかった。

7　町田サレジオ幼稚園

サレジオ家族　年間目標（Strenna　2021）

「希望につき動かされて」

Ⅰ．教育目標

創立者ドン・ボスコの教育理念である　愛情(信頼)･道理(納得)信仰(祈り)を基本とし、家庭と密接に協力しながら種々の経験を通して生きる力を育む。

南多摩の自然に囲まれた環境の中で明るくのびのびと活動し明るい心、親切な心、素直で正直な心を育てる。

幼児自身が愛されている体験を通して自ら神と人を愛する心、豊かな品性と国際的素養を身に付け円満な人格形成を目指す。

1．隣接する小山内裏公園や広くて安全な園庭での戸外遊びを通して自然とふれあい、からだを使って健康に過ごす。

2．異年齢間の交流を多く持ち、年長者は年下をいたわる心、手本になれるように行動する心、年少者は年上への憧れから挑戦しようとする心を育てる。

3．発達が遅く、ケアの必要な数名の園児への対応とその他の園児のケアのバランスを考え、サポート体制を整える。

※　３については必要に応じて、サポート体制をとる。なお、サポートの必要な園児については療育専門機関（島田療育センター、町田市発達支援センター、相模原市発達支援センター、　相模原市協同病院、　横浜子ども病院、　民間の発達支援センター　リタリコ　コペル　アップル等）との連携を取りながらまた家庭とも密に連絡を取り合いながら進めていった。

1．保育内容他

① 行事

・職員間の係分担を明確にし、それとともにわからないことは教えあい経験の浅い職員へのサポート体制をしっかりととる。

・行事ごとに目的、手立て、流れ等の評価、反省をし、マンネリにならずかつ良いところは継続し次の活動に生かす。(行事の数、進め方、内容が子供の成長に沿ったものかなど)

・コロナ禍の中、常に子供たちにとって必要な行事とは何かを考え、コロナを理由に子供の行事を取りやめることがないように工夫して行った。（お泊り会→デイキャンプ　誕生会毎月実施→隔月に実施　それに伴い誕生会の一日を該当児にとって特別な日として過ごせる工夫をした）

② 情報発信

・保育の中で生き生きとして活動する子供たちの様子を今まで以上に保護者のみならず多くの人にホームページやブログにて発信する。

③ 副園長神父による宗教の時間を通して神様に守られていることを実感し、神様と人に感謝する心を養う。

④ 昨年度からの継続で SDGｓへの取り組みを主に年長児を対象に行う。担任がイニシアチブをとり他の職員も協力して園全体として取り組んだ。

―　募集に関して　―

園則の定員を確保することが目標であり今年度も３歳児６０名の募集活動を展開した。本園の教育の

信頼度、知名度を上げるための具体的な広報活動を行う。周囲の幼稚園の情報、地域の情報、在園する園児の父母たちからの情報を収集し地域に根ざした幼稚園を目指す。また例年と同じく園庭解放を行う。未就園児はプレクラスとしてのこばと組週２回のクラスを２クラス例年通り行い、カンガルー広場（保育室開放）は昨年から週４回行っている。未就園児の保育、また子育ての支援としていろいろなバリエーションのある教室を開き参加人数の増加に取り組む。より早い段階で幼稚園を知ってもらう。(０歳、１歳)

＜園児募集につながる子育て支援の充実＞

① バリエーション豊富な子育て支援
　０歳児から在園児、卒園児（兄姉）をも含めた幅広い子育て支援の実施

② 園児募集に直結するプレスクールの充実とともに子育ての相談に随時応じ信頼関係を作る。説明会を８月から２月まで希望者がいれば毎月行う。特に土曜の広場では毎回希望者には説明をする。

③ 園庭開放、保育への参加、保育室開放等を毎月切れ目なく行い、なおかつプレスクール以外の無料で実施している活動に関しては町田市子ども生活部子育て推進課が毎月発行している町田市子育てひろばカレンダーに昨年度同様記載を依頼する。(町田市公式ホームページにもリンクしている)

④ 八王子の子育て施設に毎月の未就園児の予定をおいてもらう。(八王子南大沢子育て支援センター)

⑤ 在園児には預かり保育の充実
　早朝保育（保育開始前８：００から９：００まで）
　長期休み中の預かり保育と預かり時間の延長（８：００～１８：００まで）
　参加者が多い場合は複数担当の配置。

⑥ ２０２２年度在籍数（２０２２年５月２５日現在）
　年少　４７名　年中　３５名　年長　４２名　合計　１２４名（２０２１年度在籍数１０２名）

―　教員の養成　―

学院長による教職員要理を継続する。これを通してカトリックとカトリック・ミッションスクールへの理解を深める。学年の担任同士で園での経験者がイニシアチブを取り、園長、主任の助言の下、新任および経験の浅い教員を育成する。さまざまな教育機関（全国カトリック幼稚園連盟、私学財団研修、東京都私立幼稚園協会研修、町田私立幼稚園連盟等）が開催する幼稚園教諭の研修会に積極的に参加し、現場に学んだことを活かす。研修の内容を全職員で共有する。

Ⅱ．財務関係予算方針

施設関係　　建物の改修については、床下の水の対策を都度行った（特に梅雨、台風時期）

備品調達　　特になし

広報関係　　２０２１年度で５回の卒園生を送り出したが、まだまだ認知度を上げることが必要である。

※コロナ関係

２０２１年８月から２０２２年３月まで園児１３名　職員３名が感染。重症者はなし。うち園児１名を除いて２０２２年１月からの感染者。都度、町田市保育幼稚園課への報告と指示を受け保護者、職員へ対応した。２０２２年２月から３月にかけてそれに伴う学級閉鎖が続き卒園式は予定より２日延期して実施。この日に出られなかった子と保護者を呼び１週間遅れて再度修了証書の授与式を実施した。

2021 年度未就園児および地域活動一覧　町田サレジオ幼稚園

名称（担当）	対象(年齢)	申込方法	費用	内容	活動日
ベビーマッサージ ｱｲﾘｽ代表片山千恵講師	生後３ヶ月～10ヶ月の 乳児と保護者	必要（各回定員 12 組）実施月初日 10 時より電話受付	オイル代 300 円	ママと赤ちゃんとの 癒しのひと時を 過ごしましょう	年４回 ５・８・11・２月
季節の手形足形アート ころりんこ代表渡邉美穂子講師	０歳～２歳まで （未就園親子）	必要（各回定員 15 組）	材料費　600 円	講師の先生と楽しく 親子でアートに挑戦	年４回 ４・７・10・１月
カンガルー広場	０歳～２歳まで （未就園親子）	不要	無料	保育室開放　乳幼児親子の 自由遊び（応子育て相談）	毎週　火　水　木　金 10:00～11:30
エンジェルクラブ ～ＨＯＷＤＥＥ(はじめまして)～	2019.4.2 から 2020.4.1 （1 歳児親子）	必要　2021.3.1(月) 10:00 より電話受付	入会時 500 円 参加費 1 回 200 円	お母様の子育て応援のクラブ。 一緒に幼稚園で楽しく過ごす。	年 15 回月曜日に開催 11:00～12:00
ペンギンクラス	2019.4.2 から 2020.4.1 （２歳児親子）９名在籍 （うち９名入園　）	必要　定員 10～12 組　要お問い合わせ	会員制	前期　親子教室 後期　母子分離教室	前期５～９月　10 回 後期 10～３月　13 回 9:30～10:45
こばとクラス 母子分離	2019.4.2 から 2020.4.1 （２歳児）２７名在籍 （うち２７名入園）	必要　定員 30 名	会員制	母子分離保育	火木、水金の２コース 9:30～12:30
コアラの日 （担任）	2019.4.2 から 2020.4.1 （2 歳児親子）	必要 (各回定員 15 名)	無料	幼稚園体験 先生と遊びましょう	5.29（土）6.26（土） 9:30～11:00
園庭開放	未就園児親子	不要 （雨天中止）	無料	幼稚園のお兄さんお姉さんと一緒に遊ぼう	年 10 回
土曜の広場（地域開放） けん玉指導講師 （日本けん玉協会会長）	在園児と卒園児その家族、近隣の小学生および保護者、未就園児親子	不要	無料	昔遊び（けん玉教室） 園庭遊び　保育室開放 ※と同じ	年間 10 回　土曜日開催 10:00～11:30 上記すべて町田市の子育てひろば広報にて通知